

北米リート・セレクトファンドの運用状況

北米リート・セレクトファンド 愛称 ほくと星

Aコース(定額目標分配型/為替ヘッジあり) Bコース(定額目標分配型/為替ヘッジなし)
 Cコース(定率目標分配型/為替ヘッジあり) Dコース(定率目標分配型/為替ヘッジなし)
 Eコース(資産成長型/為替ヘッジあり) Fコース(資産成長型/為替ヘッジなし)

追加型投信/海外/不動産投信

2021年7月30日

当レポートでは、基準価額の推移、4月以降の北米リート市場の動き、ファンドの運用状況、北米リート市場の見通しとファンドの運用方針をご案内します。

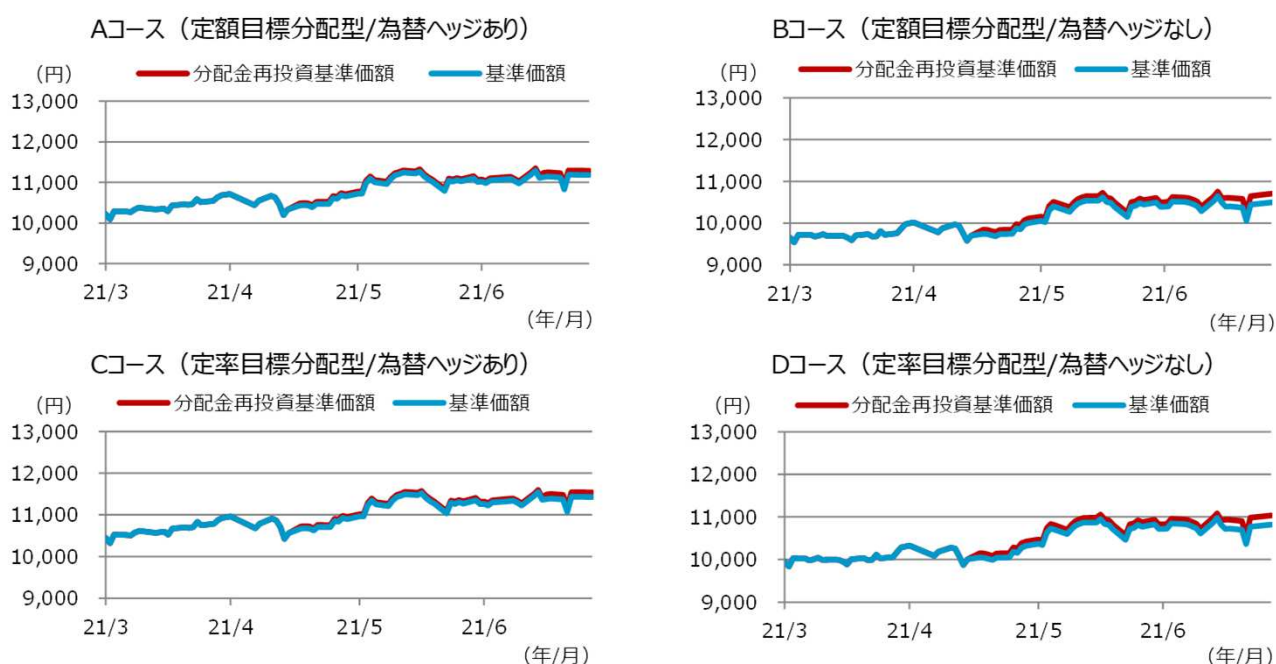
【基準価額の推移】

北米リート・セレクトファンドの**2021年7月26日時点の基準価額はAコースが11,182円、Bコースが10,492円、Cコースが11,432円、Dコースが10,820円、Eコースが12,497円、Fコースが12,698円**となりました。当期間内(2021年3月31日～2021年7月26日)の分配金を考慮した各コースの基準価額の騰落額、騰落率は下表をご参照ください。この間、北米リート市場の上昇が、基準価額に対してプラスに寄与しました。

日付	基準価額					
	Aコース	Bコース	Cコース	Dコース	Eコース	Fコース
2021年3月31日	10,214円	9,649円	10,446円	9,948円	11,313円	11,440円
2021年7月26日	11,182円	10,492円	11,432円	10,820円	12,497円	12,698円
分配金を考慮した騰落額	1,068円	1,043円	1,091円	1,077円	1,184円	1,258円
分配金を考慮した騰落率	10.5%	10.8%	10.4%	10.8%	10.5%	11.0%
分配金	100円	200円	105円	205円	0円	0円

※分配金は1万口当たり(税引前)です。

基準価額の推移 (2021年3月31日～2021年7月26日)



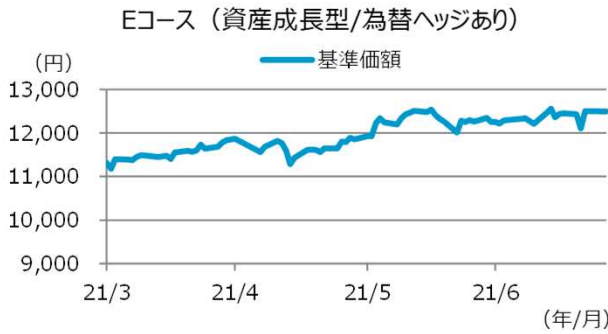
※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、2021年3月31日を起点として算出しております。

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「北米リート・セレクトファンド 愛称 ほくと星」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

北米リート・セレクトファンド 愛称 ほくと星
追加型投信／海外／不動産投信



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

【4月以降のマーケットの動き】

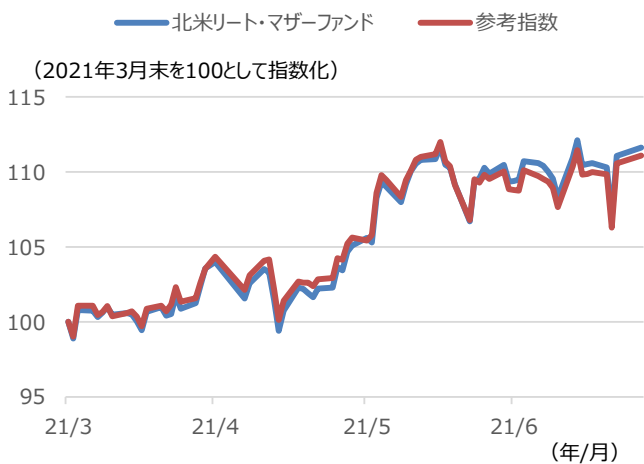
北米リート市場は上昇基調を辿る展開となりましたが、6月後半以降は、一進一退の展開に

北米リート市場は、4月に入り、長期金利の低下が好感されたほか、複数のリートが同業リートの買収で合意したことを受けて、業界再編期待が高まり、上昇しました。(図表1) 5月に入ると、景気回復に伴う物価上昇への懸念などから、長期金利の上昇に対する警戒感が強まり、下落する場面もありましたが、新型コロナウイルスのワクチン接種が進展する中、経済活動正常化によるリートの事業環境改善への期待が高まり、上昇基調を辿る展開となりました。6月後半に入ってから、米連邦準備制度理事会(FRB)が利上げ時期を前倒しする可能性を示したことなどを受けて、早期の利上げ観測が強まり、上げ幅を縮小しました。その後は、世界的な新型コロナウイルス変異株の感染拡大への懸念が強まったものの、長期金利が低下して利回り面でのリートの投資魅力が高まったことなどから、一進一退の展開となりました。

北米リート市場の主要構成国である米国におけるセクター別騰落率では、都市部を中心に需要の急回復が見られた住宅用セクターや、ネット通販向け物流センターに対する旺盛な需要が続く工業用セクターが上位となった一方、変異株の感染拡大で宿泊需要への影響が懸念されたホテル・レジャーセクターや、在宅勤務の普及で需要回復が遅れているオフィスセクターが下位となりました。(図表2)

【図表1】北米リート・マザーファンドの基準価額と北米リート指数の推移

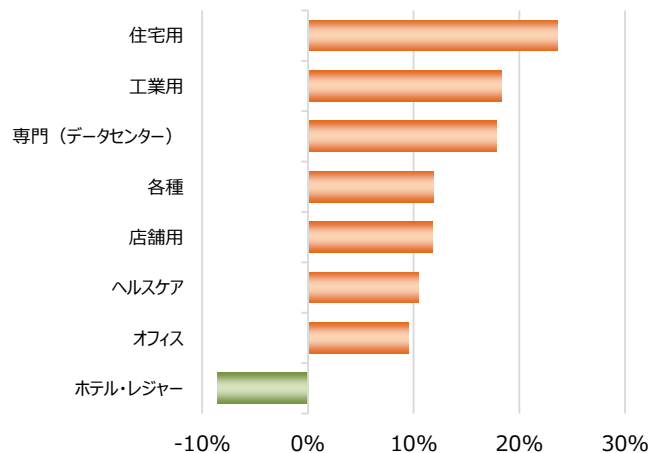
(日次：2021年3月31日～2021年7月26日)



※北米リート指数:当該日前営業日のGPR High Income REIT Americas Indexを当該日の為替レートで円換算
(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

【図表2】米国リート指数のセクター別騰落率

(対象期間：2021年3月31日～2021年7月26日)



※米国リート指数: FTSE NAREIT ALL Equity REITS TR Indexを当該日の為替レートで円換算
(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「北米リート・セレクトファンド 愛称 ほくと星」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**北米リート・セレクトファンド 愛称 ほくと星
追加型投信／海外／不動産投信**
【運用状況】
当期間に北米リート・マザーファンドは参考指数をアウトパフォーム

北米リート・セレクトファンドが主要投資対象としている「北米リート・マザーファンド」（以下、マザーファンド）の2021年3月31日から2021年7月26日時点におけるパフォーマンスは、参考指数であるGPR High Income REIT Americas Indexを上回りました。（前頁図表1）

住宅用の強気、オフィスの弱気を継続、また、店舗用を引き上げた一方、ヘルスケアを引き下げ

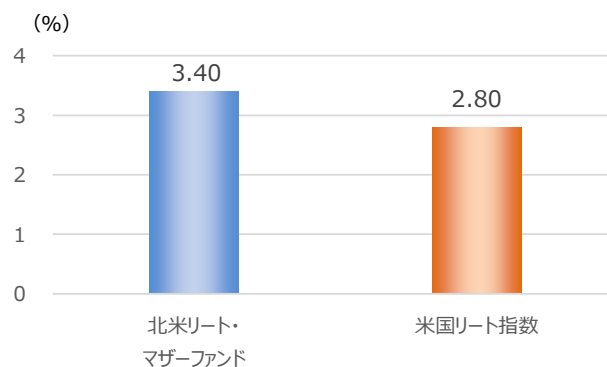
4月以降の運用ですが、マザーファンドのセクター配分については、雇用情勢の改善などが需要回復要因になると見込まれる住宅用セクターなどを強気に見てウェイト付けを継続的に行った一方、在宅勤務の普及などの影響で業績回復に時間がかかると見込まれるオフィスセクターなどに対しては弱気な見方を続けて慎重な姿勢で臨みました。また、当期間には、主にワクチンの普及により客足増加など事業環境の改善が期待される店舗用セクターなどのウェイトを引き上げた一方、ヘルスケア関連施設の業況回復が想定よりも遅れているヘルスケアセクターなどのウェイトを引き下げました。

相対的に高いマザーファンドの配当利回り

マザーファンドでは、中長期的な成長性のほか、配当利回りを重視してポートフォリオへの組入銘柄を選定しています。当期間は、ヘルスケアセクターのベンタス(米国)やホテル・リゾートセクターのパーク・ホテルズ・アンド・リゾーツ(米国)などを売却した一方、店舗用セクターのスピリット・リアルティ・キャピタル(米国)やフェデラル・リアルティ・インベストメント・トラスト(米国)などを買い付けました。こうした銘柄選定により、マザーファンドのポートフォリオ配当利回りは、米国リート指数と比較して魅力的な利回り水準となっています。（図表3）

（図表3）マザーファンドと米国リート指数の利回り比較

（2021年6月30日現在）



※米国リート指数：ブルームバーグREIT指数

（出所）Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

増配銘柄の保有が基準価額の変動にプラス寄与

マザーファンドの基準価額の変動要因としましては、経済活動正常化を背景とした業績回復に伴い増配を発表した各種セクターのエッセンシャル・プロパティーズ・リアルティ(米国)や店舗用セクターのサイモン・プロパティーズ・グループ(米国)などの上昇がプラスに寄与しました。また、マザーファンドのパフォーマンスが参考指数を上回った要因としては、住宅用セクターやヘルスケアセクターでの銘柄選択効果がプラスに寄与しました。

【市場見通し】

北米リート市場は、世界的な新型コロナウイルス変異株の感染拡大や金融緩和政策縮小への警戒感から、変動性が高まる局面も想定されます。一方、主要リートの2021年4-6月期決算では、ワクチンの普及に伴う経済活動正常化への進展を背景として、リートの収益力を表す1口当たりFFOの伸び率が前期よりも高まると予想されています。また、コロナ禍の影響が大きかった店舗用セクターなどを中心に経営陣が総じて年後半にかけて業績回復ペースが加速すると見込んでいることから、リートの業績に対する期待が相場を下支えする要因となり、底堅い展開になると予想されます。

※FFO (Funds From Operation) とは、リートが賃料収入からどれだけのキャッシュフロー（現金収入）を得ているかを示す数値で、リートの収益力を表すものと考えられています。不動産売却損益を除いたリートの純利益に、減価償却費を加算した金額になります。FFOを利用すると同一基準でリートごとのキャッシュフローが比較できます。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「北米リート・セレクトファンド 愛称 ほくと星」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

北米リート・セレクトファンド 愛称 ほくと星
追加型投信／海外／不動産投信

ワクチンの普及によりリートの事業環境改善が続く見込み

米国では、感染力の強い新型コロナウイルス変異株の感染拡大により、ワクチン接種が遅れている地域を中心に新規感染者数が再び増加しています。(図表4) 一方、ワクチン接種が先行している地域では新規感染者や重症化が抑え込まれている傾向が見られることに加え、ワクチン接種が遅れている地域でも感染拡大への危機感から、接種ペースが上昇し始めている模様です。こうしたことから、ワクチンの普及に伴う経済活動正常化の進展が続くと見込まれ、コロナ禍の影響を大きく受けた店舗用セクターなどを中心にリートの事業環境改善が継続すると考えられます。

米国リートの業績回復が加速する見通し

米国主要リートの2021年4-6月期決算では、リートの収益力を表す1口当たりFFOは、リートの事業環境改善を背景に前年比5.0%増と、前期よりも伸び率が高まる見通しです。(図表5) セクター別では、店舗用セクターのFFOが前期の2桁減から2桁増に転じると見込まれています。

通期業績見通しの上方修正に期待

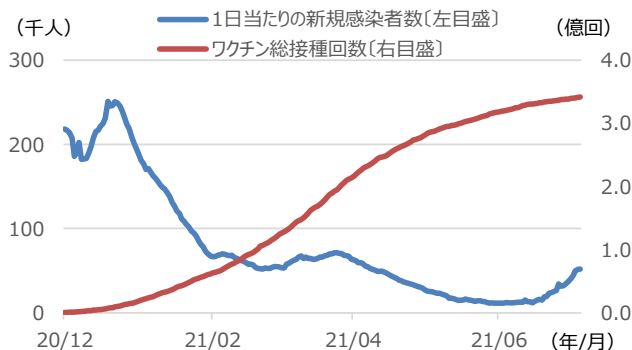
7月19日から主要リートの決算発表が始まり、7月26日までに決算を発表した12銘柄のうち、10銘柄が市場予想を上回るFFOを発表しており、リートの業績が順調に回復していることが窺われます。今後の決算発表でもFFOが市場予想を上回り、店舗用セクターを中心に経営陣が総じて年後半にかけて業績の回復ペースが加速すると見ていることから、業績見通しの上方修正が見込まれ、リートの業績への期待が相場の支援材料になると考えられます。

カナダリートの業績回復期待が高まると見込まれる

カナダでは、新型コロナウイルスのワクチン接種が米国よりも遅れているものの、足元で接種ペースが加速しており、米国と同様に経済活動正常化への進展による景気回復やリートの事業環境改善が見込まれます。また、原油や天然ガスなどの資源価格が高値圏で推移していることも経済成長を下支えする要因になると考えられます。こうした中、カナダ主要リートの2021年4-6月期決算では、1口当たりFFOは、前年比8.0%と増加に転じる見込みです。(図表6) 前年同期に新型コロナウイルスの感染拡大の影響でFFOが2桁減となった店舗用セクターが、事業環境の改善により2桁増となる見込みであり、カナダリート業績回復の牽引役になると考えられます。

(図表4)米国の新型コロナウイルス新規感染者数とワクチン総接種回数の推移

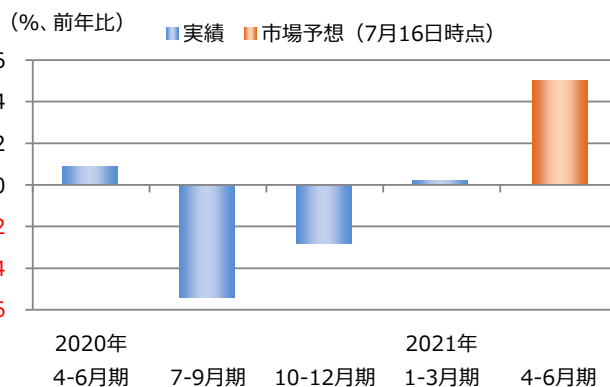
(日次：2020年12月21日～2021年7月25日)



※ 1日当たり新規感染者数：過去7日平均

(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

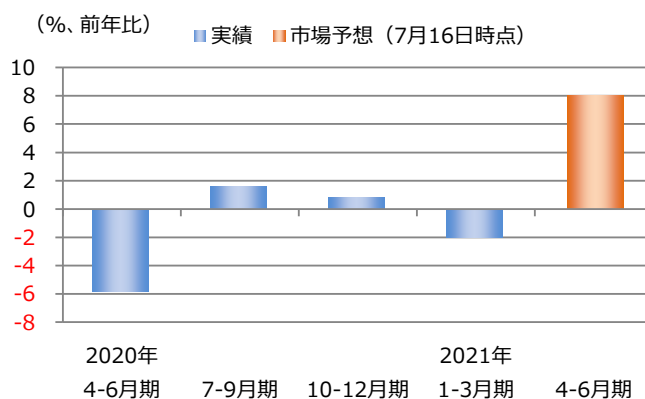
(図表5)米国主要リートの1口当たりFFO伸び率の推移
(四半期：2020年4-6月期～2021年4-6月期)



※ FTSE NAREIT ALL Equity REITS TR Indexの構成銘柄を対象に、FFO実績、予想がマイナスの銘柄を除いた、前年との比較が可能な時価総額上位100銘柄について集計(時価加重平均)。

(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

(図表6)カナダ主要リートの1口当たりFFO伸び率の推移
(四半期：2020年4-6月期～2021年4-6月期)



(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「北米リート・セレクトファンド 愛称 ほくと星」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

北米リート・セレクトファンド 愛称 ほくと星
追加型投信／海外／不動産投信

長期金利の上昇余地は限定的になると想定

米国リート市場では、FRBが6月の米連邦公開市場委員会(FOMC)で2024年としてきた利上げ時期の想定を2023年に前倒したことや、資産購入の縮小(テーパリング)に向けた議論を開始したことを受けて、量的金融緩和政策の縮小に対する警戒感から相場の上値が抑えられる場面がありました。

一方、利上げ時期の前倒しにより、インフレ加速への懸念が後退し、FOMC後の長期金利は低下基調で推移しています。(図表7) 今後、FRBは景気や物価動向を確認しながら金融政策の正常化を進める姿勢を強められると思われれます。ただ、FRBが金融政策スタンスを変更する場合、混乱を避けるため、金融市場に対し丁寧に説明しながら慎重に行うと見込まれることに加え、マイナス金利政策を継続している日本や欧州などの海外投資家を中心に米国債に対する旺盛な投資需要が期待できることから、長期金利の上昇余地は限定的になると考えられます。こうした中、相対的に高い利回りが魅力となり、リート市場への資金流入が続くと期待されます。

(図表7)米国10年国債利回りの推移

(日次：2019年4月1日～2021年7月26日)



(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

【運用方針】

住宅用、店舗用に強気、一方、オフィス、ヘルスケアは弱気

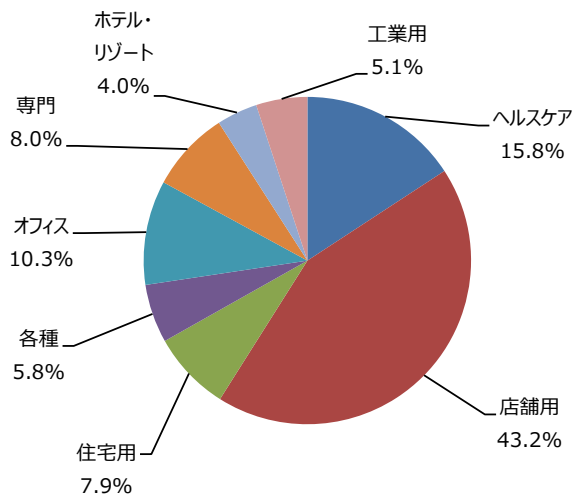
マザーファンドでは、新型コロナウイルスのワクチン普及等を背景とした、経済活動正常化に伴う雇用情勢の改善などが需要回復要因になると見込まれる住宅用セクターや、来店客数の増加など事業環境の改善が期待される店舗用セクターに加え、高速通信規格「5G」の普及が追い風となる通信基地局を中心に専門セクターなどを強気に見てウェイト付けを行う方針です。

一方、ヘルスケア関連施設の業況回復が想定よりも遅れ、コロナ沈静化による政府支援一巡の悪影響が懸念されるヘルスケアセクターや、多くの企業がコロナ後も在宅勤務とオフィス勤務を組み合わせた勤務体制の維持を考慮しており、業績回復に時間がかかると見込まれるオフィスセクターなどに対しては弱気な見方をしており、慎重な姿勢で臨みます。(図表8)

個別銘柄については、質の高い資産を保有し、財務状況が健全で安定的なキャッシュフローが期待できる優良銘柄を中心に投資する方針です。

(図表8)マザーファンドの保有リートセクター別構成比率

(2021年7月26日現在)



※比率は北米リート・マザーファンドの保有リート全体に占める各セクターの構成比です。
※比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

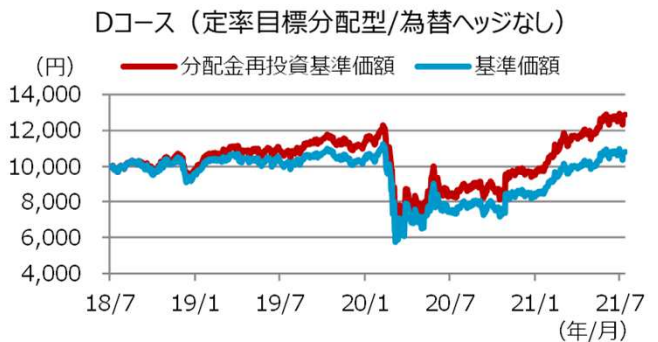
<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「北米リート・セレクトファンド 愛称 ほくと星」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



北米リート・セレクトファンド 愛称 ほくと星
追加型投信／海外／不動産投信

約款変更適用日以来の基準価額の推移 (2018年7月13日～2021年7月26日)



※基準価額は1万円当たり、信託報酬控除後です。
 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(作成：運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「北米リート・セレクトファンド 愛称 ほくと星」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



北米リート・セレクトファンド 愛称 ほくと星
追加型投信／海外／不動産投信

北米リート・セレクトファンド 愛称 ほくと星に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国およびカナダの不動産投資信託証券等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「不動産投資信託証券のリスク（価格変動リスク）、（分配金（配当金）減少リスク）」、「為替変動リスク」があります。その他の変動要因としては、「不動産投資信託証券のその他のリスク（信用リスク、業績悪化リスク、自然災害・環境問題等のリスク、法律改正・税制の変更等によるリスク、上場廃止リスク、流動性リスク）」、「カントリーリスク」があります。
- 為替ヘッジあり(Aコース)(Cコース)(Eコース)では、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しますが、為替ヘッジの対象となる外貨建資産は市況動向により変動することから、為替変動リスクを完全にヘッジすることはできません。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.65%（税抜1.50%）
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。なお、上場不動産投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場不動産投資信託の費用は表示していません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
（金融商品取引業者）					
岡三証券株式会社	関東財務局長（金商）第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長（金商）第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長（金商）第169号	○			
アーク証券株式会社	関東財務局長（金商）第1号	○			
今村証券株式会社	北陸財務局長（金商）第3号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長（金商）第22号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長（金商）第6号	○			
荘内証券株式会社	東北財務局長（金商）第1号	○			
大熊本証券株式会社	九州財務局長（金商）第1号	○			
ニュース証券株式会社	関東財務局長（金商）第138号	○	○		
播陽証券株式会社	近畿財務局長（金商）第29号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長（金商）第12号	○		○	
楽天証券株式会社	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長（金商）第2号	○			
三京証券株式会社	関東財務局長（金商）第2444号	○		○	
三晃証券株式会社	関東財務局長（金商）第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長（金商）第18号	○			○

<本資料に関するお問合わせ先>
フリーダイヤル 0120-048-214（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）